

れいてきサミットに いく みち

創世記 41章 16節 ヨセフはパロに答えて言った。「私ではありません。神がパロの繁栄を知らせてくださるのです。」

私たちの住む地球には、本当に多くの方が暮らしています。それぞれの国には国家を導く指導者として大統領や首相がいて、そのような人々の集まりをサミットと言います。さらに世の中には、各界、各層、分野ごとにリーダー（トップ）がいます。サミットはもともと、山の頂上（トップ）を意味する単語です。サミットやリーダーと呼ばれる人々は、多くの人に影響を与え、新しい文化を生みだし先導することによって、全世界の流れを変えるターニングポイントを作り出すことがあります。しかし、このような世の中は、福音一つがなくて死んでいます。それを神様はご存知で、レムナントを霊的サミットと呼ばれました。

小さくて弱くて幼く見える私たちが、聖書のレムナントのように呼ばれました。ヨセフが幼いときに世界福音化の夢を見て、サムエルが幼い時期から神様の御声を聞いて、ダビデがあらかじめサミットとして選ばれたように、私たちも神様に選ばれた存在です。彼らの共通点は、どんな所でも、霊的サミットの座についていたということです。そして、自分のいる現場で神様のみことばをあらかじめ見ました。

私の歩む道はどこへつながっているのでしょうか。その道が霊的サミットの座につながる道になるように祈りましょう。神様はついてくる答えとして、福音で現場を生かす霊的サミットの祝福を与えてくださるでしょう。



きょうのみことば



きょうのいのり 神様、ありがとうございます。今日という一日の道が、私には霊的サミットの道になりますように。その道で、すべてのことを始めさせてください。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



書いてみよう

霊的サミットになるときについてくる2つの答えがあります。霊的サミットになると、与えられる祝福の役割を期待して、祈って、下の文字（霊的サミット、技能サミット、文化サミット）の日本語と英語をなぞって書きましょう。



きょうのでんどう

あひと 会う人

じゅんび しりょう 準備する資料



レムナントせんきょうしの じゅうよう な きっかけ

かようび

使徒
11章 19節

さて、ステパノのことから起こった迫害によって散らされた人々は、フェニキヤ、キプロス、アンテオケまでも進んで行ったが、ユダヤ人以外の者にはだれにも、みことばを語らなかつた。

ある神学者が「福音がない人はすべて宣教対象で、福音を持つ人はすべて宣教師だ」ということばを残しました。このことばのとおり、福音を持つレムナントはすべて現場を生かす宣教師です。神様は私たちが造られた時からレムナント宣教師として呼ばれました。

最初の現場宣教師として召された初代教会の伝道者は、イエス様の復活と昇天の後に与えられた聖霊なる神様の力が多くの人を福音で変化させるのを見ました。その中で信仰と知恵に満たされて福音を伝えたステパノ執事が、福音を伝えたという理由によって迫害されて殉教しました。その迫害によって多くの伝道者があちこちに散らされたので、伝道運動が止まったように見えました。しかし、このような問題は、かえってきっかけとなって、レムナントのパウロが神様に立ち返る機会になりました。

私には今どんな問題がありますか。問題は私が持っている福音を止めることはできません。問題とは、神様が私を伝道者として立たせるために備えてくださった重要なきっかけであるという事実を覚えましょう。そして、このきっかけを備えてくださった神様に感謝しましょう。



きょうのみことば

Blank lines for writing the message of the day.



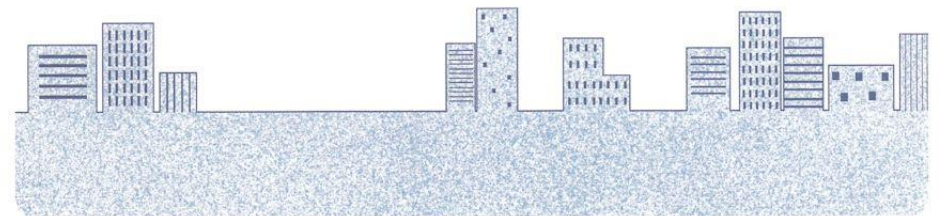
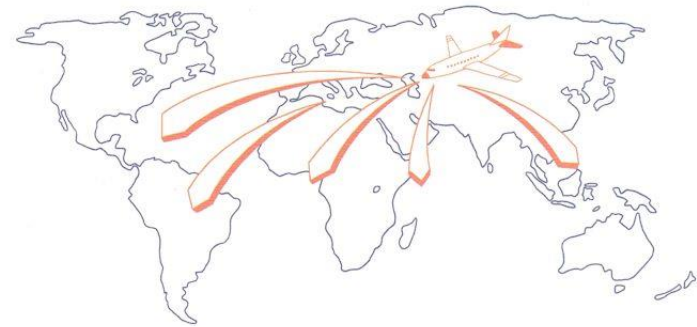
きょうのいのり

神様、ありがとうございます。レムナント宣教師というとても重要な祝福を与えられた私であることを覚え、直面する問題を土台として更新することができますように。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



絵をかこう

レムナント宣教師として、全世界237か国の中で、どんな国を心に抱いていますか。その国を心に抱くようになったきっかけを考えたながら自由に絵で表現しましょう。



きょうのでんどう

あひと
会う人

Grid area for writing names of people to meet.

じゅんび
準備する資料

Blank lines for writing preparation materials.



10 すいようび

キリストの なかに ある まことの かいほう

レビ 16章 30節

なぜなら、この日に、あなたがたをきよめるために、あなたがたの贖いがなされるからである。あなたがたは、主の前でそのすべての罪からきよめられるのである。

神様によって選ばれたイスラエル民族は、全世界237か国に福音を伝えるために呼ばれました。しかし、その祝福をなくして、エジプトの奴隷になってしまいました。そこで神様はレムナントのモーセを送り、エジプトを出て、荒野生活を体験し、乳と蜜が流れるカナンの地へ向かうよう、イスラエルの民をみちびかれました。神様は、荒野を抜けてカナンを目指すイスラエルの民に幕屋を作るようにと言われました。幕屋の中にある契約の箱を通して、イスラエルの民とともにおられ、彼らを細かく導いてくださいましたレビ記には礼拝に関する内容が記録されています。礼拝とは、私たちが罪が赦されることです(贖罪)。それとともに礼拝の主人公であるキリストが宣言されて、まことの解放と祝福が臨む時間です。

私たちはイスラエル民のように神様を離れてサタンの奴隷になった状態から完全に抜け出さなくてはなりません。創世記3章 15節に約束された女の子孫キリストの力が宣言されて味わうときに、まことの解放があります。私たちはこの祝福を現場で味わって伝える証人になるでしょう。





神様、ありがとうございます。キリストひとりによってサタンの奴隷からまことに解放された証人としてくださった奥義を伝えるレムナントになりますように。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



幕屋には、神の子どもがキリストを味わうための、キリストを象徴するもの7つがあります。それぞれの名前を書いてその意味を、もう一度、心に刻みましょう。

HINT: 契約の箱、全焼のいけにえの祭壇、パンの机、燭台、香の壇、洗盤、油



あひと
会う人

じゅんび しりょう
準備する資料



せいなる レムナント

もくようび

レビ
19章 2節

「イスラエル人の全会衆に告げて言え。あなたがたの神、主であるわたしが聖であるから、あなたがたも聖なる者とならなければならない。

聖なるとは、「区別された」という意味をもつ単語です。神様は神の子どもに「わたしが聖であるから、あなたがたも聖なる者とならなければならない」と約束をくださいました。私たちが信じる神様は創造主なる神様です。この世のどんな偶像とも比べることはできません。神様の民は、この世界に生きる誰よりも、貴重で尊い存在だという事実を忘れないようにしましょう。

神様はこの事実の証人として、エジプトの迫害の中でレビの男とレビの女の間にも生まれたモーセを聖なる者とされました。モーセはエジプトの王宮で40年間、世の中のあらゆることについて勉強しました。そして、逃亡者として暮らしたミデヤン40年間で霊的力を受けました。やがて時がきて神様に召されると、イスラエルの民を率いて、荒野40年間、神様の使命を果たしました。

神様は私たちをレムナントとして呼び、完ぺきに導くための計画を成し遂げておられます。時にはミデヤンの荒野のように、神様だけが私の道で、力となる場にいることもあるでしょう。しかし、その場で区別されたレムナントに与えられた最高の祝福である礼拝と祈りを味わうならば、霊的サミットになるでしょう。



きょうのみことば



きょうのいのり

神様、ありがとうございます。モーセのように、聖なるレムナントとして呼んでくださったので、問題もすべて土台となる世界福音化の旅にいますように。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



さんびしよう

ゆめの実現

作詞/作曲: チャン・ソヨン

♩=128

C7/E F A7/C#Dm7 Gm GmM7/F# Gm7/F C7/E

ふく いんもつた Rem-nant ふく いんで世を生かすー ぶく

Am7 D7 Gm7 C9sus4 C7 F9 A7/C#

5
いんのなかで見たー そのゆめ いつもどこに

Dm7 Gm GmM7/F# Gm7/F C7/E Am7 Dsus4 D7

10
いてもー いのりでえがくならー かみさまそのゆめー

Gm7 Gm7(b5) Bb/F F Bb9 C7 Am7 Abdim7

15
なしとげー られますー



きょうのでんどう

あひと
会う人

じゆんび しりよう
準備する資料

あらかじめ みること

創世記
37章 1～11節

21 Gm7 F/A B^b C7 F Cm7 F7 B^b7(b5) C7/B^b Am7

かみさま この世界—で わたし—を

28 D7 B7(b9) B^bM7 Am7 Gm7 E^bM7 C7sus4

呼んだ— かんりょう キリスト さ—けぼう— ふく

34 Am7 D7sus4 D7 Gm7 F/A D^b E^b F

さまその ゆめを— なしとげて—く ださる—



きんようの でんどう

あひと
会う人

じゅんび しりょう
準備する資料

みると、私たちは畑で束をだばねていました。すると突然、私の束が立ち上がり、しかもまっすぐに立っているのです。見ると、あなたがたの束が回りに来て、私の束におじぎをしました。」

神様を知らない多くの人は、なにかの節目で未来が気になって占ってもらいにいきます。彼らは悪魔の子どもだからです。占ってもらっても、霊的事実から見ならば、本当の未来を知ることではできなくて、正確な霊的眞実は絶対に分かりません。しかし、神様がすでに備えられた本当の未来をあらかじめ見るならば、すべてのことが簡単になります。たとえ困難に直面することがあっても、勝ち抜く力が与えられます。かえて困難を通して、すべての人を生かすことができるでしょう。

聖書のレムナント7人（ヨセフ、モーセ、サムエル、ダビデ、エリシャ、イザヤ、パウロ）は、未来に起きることをあらかじめ見て準備しました。神様が何をくださったのか、あらかじめ見たのです。レムナントのヨセフは、神様がアブラハムとイサクとヤコブにされた約束をはっきりと信じることができました。そして、その約束を自分自身に成就する事実として見ました。これによって家庭に困難がきて兄たちや母親たちとの戦い、混乱の中でも、揺れない奥義になりました。

私たちも神様が私にくださった契約を握って、未来をあらかじめ見るレムナントになることを祈りましょう。未来を心配してあたふたする友だちに、まことの霊的事実を知らせるレムナントになるでしょう。



きんようのみことば



きんようのいのり

神様、ありがとうございます。神様がくださる契約を握って、契約通りに成就することをあらかじめ見るレムナントになりますように。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



あらかじめ もつこと (ちから)

I サムエル 3章 1~12節

そのうちに主が来られ、そばに立って、これまでと同じように、「サムエル。サムエル」と呼ばれた。サムエルは、「お話しください。しもべは聞いております」と申し上げた。主はサムエルに仰せられた。「見よ。わたしは、イスラエルに一つの事をしようとしている。それを聞く者はみな、二つの耳が鳴るであろう。

カッコいい自動車でも、安全でないならば乗りたくないでしょう。世の中には重要なものや良いものが多くあるのですが、安全より重要なことはありません。特にレムナントの時期には、いつも安全を感じて、愛されていると感じてこそ、さらに成長できるでしょう。

それなら、私たちのたましいはどうでしょうか。霊的システムで神様とともにいるという霊的な安全を毎日確認すべきです。それでこそ、私たちのたましいが平安を味わい、成長して、成熟する力が与えられて、やがて他のことを征服する力をも与えられるでしょう。霊的システムは、レムナントが持つ力の源泉です。サムエルのお母さんハンナは、ペリシテが絶えず攻め込むので苦しい毎日だったのですが、神様の計画を発見して、ナジル人を育てるというビジョンを握るようになりました。ハンナには神様がともにおられることを味わう霊的システムがあったので、このような大きな夢をビジョンとして持つようになったのです。私たちが毎日霊的システムである祈りを通して神様がくださる霊的安全の力を味わうように祈りましょう。



きょうのみことば



きょうのいのり

神様、ありがとうございます。毎日ともにおられる恵みを、みことばと祈りで味わいますように。その中で私にある計画をあらかじめ持つことができますように。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン

めいろう
神様がくださる力をあらかじめ持った人は「あらかじめの5つの奥義」を持ちます。めいろうを通りながら、奥義5つを順序どおり見つけて、神様がくださる力を私も体験できますようにと祈りましょう。



きょうのでんどう

あひと
会う人

じゅんび
準備する資料
